

幼稚園や保育園に絵本寄贈 府庁で式典、「けむしのおなら」



式典に参加した園児たちに絵本を手渡す
松村さん(左)と村上さん
＝京都市上京区・府庁

建築設計会社社長の松村正希さん(69)は、宇治市で著書の絵本「けむしのおなら」を京都府内の幼稚園や保育園にプレゼントする式典が2日、上京区の府庁であった。

「ゴリラやライオン、サイなど多様な動物たちのおならの実態を、手作り絵本作家の村上

祐喜子さん(62)の挿絵とともにコミカルに描いている。絵本は府を通じて、府内の私立幼稚園や児童養護施設と、京都市内を除く保育園、認定こども園など計395園に届けられる。

受け入れ式では、松村さんが府保健福祉部の松村淳子部長に目録を手渡し、「絵本を通じて子どもたちの笑顔が満ちあふれることを願っている」とあいさつ。参列した約40人の園児を前に松村さんが絵本を朗読すると、子どもたちの大きな笑い声が響いた。

「けむしのおなら」は5月10日より書店で販売。京都新聞出版センター 075(241)6192。(清原稔也)